平成27年8月27日　発行

中村設計新聞

第五十号

七月十八日(土)曇り

今月は宇治上神社、平等院など宇治の名所を見学し、抹茶づくり体験を行いました。

○はじめに

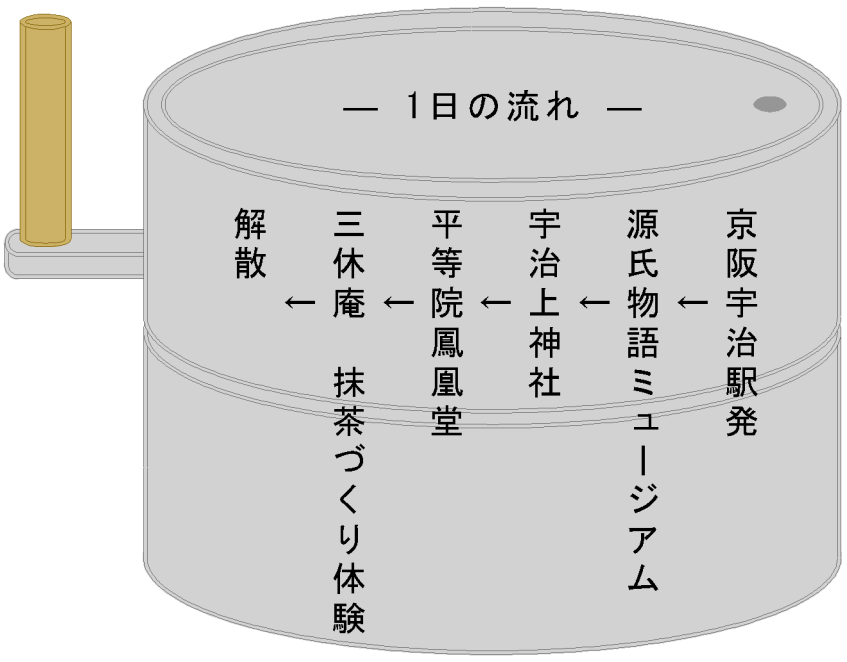
今月の土曜研修は、世界遺産の平等院鳳凰堂、宇治上神社や宇治の街をボランティアガイドの方に案内して頂きながら見学しました。

宇治茶を石臼で挽く抹茶づくり体験では、お茶のたて方を学びながら、自分達で挽いたお茶をいただきました。

↑　宇治公園が立入禁止！

↑　街中にも源氏物語に関係するものが！

↑　おいしく頂きました



○日本最古神社建築　宇治上神社

左上の写真が、拝殿。その下が本殿。拝殿の前には「清め砂」である円錐形の盛り砂がしてあり、境内のお清め用の砂として使用されています。

本殿内には、中央内殿は応神天皇、左殿は、菟道稚郎子（応神天皇の末の皇子）を右殿は、仁徳天皇（応神天皇の皇子）を祀ってあります。

神社としては、左右対称ではない珍しい構成です。

○平等院鳳凰堂

鳳凰堂の修理が尾廊部分を除き終了し修理前と比較しながら見学をしました。

平安時代の最高の仏師定朝によって制作された丈六の阿弥陀如来坐像が安置され、華やかさを極めたとされています。

綺麗に修復されていて、ライトアップの時に拝観できれば、もっと良かったのになあー。と思いました。

○抹茶づくり体験

歴史のある三星園の三休庵にて、抹茶づくりを体験しました。

まず、宇治茶資料室で三星園に代々伝わる御茶師、日本茶の歴史を貴重な資料とともに、現当主にお話を聞かせていただきました。

お茶の作法も教えていただき、いざ、抹茶づくりへ！

石臼の中にお茶の葉を入れ、時計周りにぐるぐる…ぐるぐる…。

小さいながらも石臼は重く、筋肉痛になるかと思いかけた頃に、綺麗な緑のいい香りの抹茶が出てきました。

自分で挽いた抹茶で各自お茶をたてました。挽きたての上に、自分で挽いたということもあり、とてもおいしくいただきました。

当主の方が、『作法が多く、固く見えるお茶の世界も、お茶を楽しむことが一番大切だ。』とお話をされていた言葉が一番印象に残りました。今までよりもお茶の世界が近く感じられる体験となりました。

○研修レポート

今期最後の土曜研修は、宇治の名所見学でした。何度か行ったことのある場所でしたが、ボランティアガイドさんに案内して頂きながら周ると初めて知ることばかりで、とても勉強になりました。

きれいになった平等院は朱塗りが力強い印象で、初めての抹茶づくり体験はたてるのが難しかったですが、おいしく頂くことが出来ました。

中村あすか

○まとめ

前日の台風の影響で、交通機関の遅れや運休、宇治川の増水による宇治公園への立ち入り禁止等が発生。一部、予定を変更することになりましたが、おかげで観光客の方も比較的少なく、ゆっくりと宇治を周ることができました。

何度訪れても新しい発見があり、宇治の魅力を実感しました。

○中村設計新聞　五十号発行

二〇〇九年四月に第一号を発行してから、ついに五十号発行となりました。

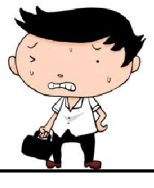
土曜研修では様々な場所を訪れて、たくさんの方のご協力を頂きました。研修に携わって頂いた方々に感謝すると共に、継続して発行していけるよう研修委員一同、より一層尽力致します。

今後とも、中村設計新聞をよろしくお願いします。

○ゴーヤカーテン

もうたくさんだ！！

暑い！熱い！アツイーーーーーー！

それ以外に言葉がないーーーーー！

▲2015/08/06現在